

市民派無所属府中市議会議員「市民の風」

結城りょう
市政通信

○結城亮 [携帯] 090-4136-7642

[E-MAIL] yuki4551-luky@docomo.ne.jp

○住所 〒183-0004 府中市紅葉丘 2-6-3 メープルタウン吉野 D202

○ホームページ

結城りょう



(毎日ブログ更新中)

「新型コロナから、私たちの命を守ってほしい」
…切実な市民のみなさんの声を市長に届けました

新型コロナウイルスから府中市民の命、生活を守るための20の要望項目を提出しました

市議会議員、結城りょうは、府中市の高野市長あてに府中市議会の会派「市民の風」として新型コロナウイルス感染拡大防止の緊急要望書を提出しました。要望の柱として①医療、②学校教育、③介護、④学童クラブ、⑤中小商工業、⑥市民生活への影響に関するもの、⑦その他の七の柱から20項目にわたって要望しました。

①医療…PCR検査体制の拡充など、②学校教育…小中学校における屋外運動の開催、学校給食無償化とすべての児童、生徒にオンライン授業環境の保障など、③介護…介護事業所で働く職員へのコロナ感染防止対策の徹底など、④学童クラブ…学童クラブの職場で働く職員へのコロナ感染防止対策の徹底など、⑤中小商工業者…市の施策（持続化給付金への補充策）の拡充、⑥市民生活関連…新型コロナ感染情報の拡充と市民への徹底、妊産婦への支援策など20項目を提出しました。

これら20の要望項目については、私あてにメールを寄せていただいた市民の方々からのご指摘をうけて、その中身を整理しました。この間、私あてに医療や介護、学童クラブの現場に従事されている方をはじめ、児童や生徒の保護者の方など、多方面の方々から具体的なご要望をいただいております。ぜひ当事者の生の声を届けたいという思いで、まずは緊急要望第1弾というかたちで提出しました。引き続き8月中にも第2弾も予定しております。

「なぜ府中市からの新型コロナウイルスの感染情報が少ないのか」

「府中市には独自の保健所がないため、情報が制約される」(市の答弁)

- 「長年、府中に住んでいますが、高齢ですので恐怖です。今までに、死者は出たのでしょうか。市は発表しないので不安です」。
- 「コロナ感染者が増え続ける府中市ですが、実態がつかめず、不安で仕方ありません。プライバシーの保護は十分承知していますが、あまりにも情報がなさすぎて困惑します。もはや、23区と肩を並べる人数となりました。院内感染が原因か、夜のお仕事の方か、劇場関連か、なぜ増え続けるのでしょうか。これほど情報が少ないまま人数だけ見ていると、市民同士の憶測や噂話が先行してしまいます。感染者に恐れ、家に閉じこもり、不健康な日々となってしまいます。正しく恐れるために、必要な情報を強くお願いいたします」。
- 「もっと市民にコロナ情報を、情報が少なすぎます。正確な事までとは言いません。どこの地区とか企業とか教えていただけませんか」。

市民の方から多く聞かれるのが、こうした疑問です。市からの情報開示について高野市長のツイッターでは、「もっと詳細をお伝えしたいと思っておりますが、東京都内の自治体のうち、23区と八王子市、町田市以外は東京都が保健所の行政を行っていて、都の方針でこれ以上の報告が（市に）来ません。伝聞調でお叱りを受けることもありますが、私もいつも歯痒さを感じていて、大変申し訳ない気持ちです」。

私も6月議会でこの問題を取り上げましたが、情報開示が進んでいる自治体（足立区、柏市など）のケースをあげて、府中市にも今後、感染者のプライバシーの侵害にふれない範囲での開示を求めました。市の答弁は「千葉県柏市、東京の足立区ではそれぞれの自治体が保健所を設置、運営しているため、保健所の調査に基づいた情報の開示を行うことができる」とし、「府中市を含む多摩地域の保健所では、地域保健法に基づき二次保険医療圏域ごとに一ヶ所に東京都が設置と運営しているため、同じ基礎自治体でも違いがあり、自治体独自による調査ができない」ことを理由としています。

国が保健所の広域化と統廃合を進めた結果、多摩地域の保健所数も大幅に減少、「パンデミック」に対応できない保健所行政機能に

ではなぜ府中市には独自に運営する保健所がないのでしょうか。国は保健所につい

て26年前（1994年）に「保健所法」を「地域保健法」という法律に改定、「行政改革」の名のもと全国の保健所を広域化と数を減少させ、国は補助金も減らしました。そのため全国の保健所の数が、848から直近では472にまで減り、多摩・烏しよ地域も以前は18か所ありましたが、現在は8か所に減りました。こうした保健所行政を軽視したことが、今回の新型コロナ感染拡大という「パンデミック」に対応できないことが露呈されたわけです。

東京都に保健所改革を求める…市民の命を守る保健所行政を！

今後は、感染症に対し保健所が担うべき窓口相談や行政による調整機能を、例えば医療機関などに展開していくなどの施策が必要ではないかと考えます。また高野市長も自身のツイッターで、「府中市を管轄する多摩府中保健所は、調布・狛江・武蔵野・三鷹・小金井・府中と100万を超える都民が対象で、どこよりも多いのです。各市長の声を集め、8月に東京都市長会を代表して東京都に対し強く保健所改革を求めることにしています」と表明しています。

府中市のコロナ感染者の場合、大型クラスターではない市中感染者数が多い

府中市の場合、新型コロナ感染者数では7月14日から27日の間に39人増、なかでも7月25日に7人増加し、7月28日現在で126人です（多摩地区でトップは八王子市の137人）。課題としては、府中市の検査数に対する陽性率がわからないことがあります。これも検査数の情報がなくと判明しません。

また感染経路について高野市長のツイッターでは「(市内の新型コロナ感染者で)重症の方はいません。入院もしくはホテルなどで療養されています。市内での集団的感染はなく、都心などの繁華街や職場もしくは経路不明の市中感染が多く、この方々から家族が感染するケースが散見されます」と説明しています。

市は早急に感染者の療養態勢確保を

確かに府中市の場合はクラスターとしては、朝日町にある警察学校で発生しましたが、それ以外のところで大型のクラスターが発生したという情報はとくにないようです。一方で府中市内には複数の大企業の事業所があり、市外から府中市に勤務にくる人口も多数いて、そうしたことも市中感染者が増えた理由かもしれません。いずれにせよ、市として相当な緊張感をもって対応する構えと、療養の受け入れ態勢についても、民間ホテルを借りるとか公共施設の確保など、早急な対応が必要ではないでしょうか。

府中市でも独自のPCR検査体制の拡充を求めたい…多摩市が検査態勢を拡充

また府中市独自のPCR検査体制の拡充も必要です。隣の多摩市では府中市と同様に、現在は市の医師会によるPCR検査が実施され、医療機関が必要と判断した方だけが、検査の対象となっています。それを多摩市では「今後は学校などで感染者が発生した場合、濃厚接触者とされなくても同じクラスの児童など関係者を市側で選定し、PCR検査を受けられることを通知する」とし、方法としては「市内の診療所で自分の唾液を容器に入れて提出し、結果は2日間程度で判明する」とのことです。「市の健康推進課では「濃厚接触者ではなくても不安になるケースはあります。安心安全の確保と感染拡大防止に寄与したい」と記事にはあります。こうした施策をぜひ府中市にも要望したいと思います。



結城りょうに 府中市政へのご意見、ご要望をお寄せください

ぜひ府中市に対する要望について、新型コロナウイルス感染拡大防止策でしに要望したい方、また市政全般の事柄について、ご要望のある方は、私の下記のメールアドレスに、お気軽にお寄せいただければと思います。こちらからメールで返信もさせていただきますので、よろしくお願いたします。メールアドレス yuki4551@ozzio.jp

電話の場合は、留守電にコメントを入れていただければありがたいです（電話にできない場合もあり、後程こちらから掛けさせていただきます）。電話 090-4136-7642

また私、結城りょう はホームページのブログを毎日更新しておりますので、そちらもぜひご覧いただければ嬉しいです。
[ホームページ検索→結城りょう]



府中市議会議員 結城りょう プロフィール

昭和45年（1970年）5月11日生、横浜市青葉区出身、大東文化大学法学部卒、労働組合事務局などの仕事を経て、2015年4月から府中市議会議員（現在、2期目）。所属する委員会には現在、厚生委員会、基地等跡地特別委員会、公契約関係競争入札妨害事件に係る再発防止対策特別委員会、府中市都市計画審議会委員。現在は無所属で一人会派「市民の風」に所属。

新型コロナウイルスで売り上げが減少している事業者の方に、国が家賃支援給付金を支給しています 法人は最大600万、個人には最大300万を支給

政府は新型コロナウイルス感染拡大の支援対策として、売上の減少に直面するみなさんの事業の継続をささえるため、地代・家賃（賃料など）の負担を軽減する給付金を支給する制度がスタートしました。（以下、中小企業庁のHPより一部抜粋します）

★**対象者**…法人は、資本金10億円未満の中堅企業、中小企業、小規模事業者を対象とし、医療法人、農業法人、NPO法人、社会福祉法人など、会社以外の法人も幅広く対象とします。個人事業者は、フリーランスを含み、幅広く対象とします。

★**家賃支援給付金とは**…新型コロナウイルス感染症を契機とした5月の緊急事態宣言の延長などにより、売上の減少に直面するみなさまの事業の継続をささえるため、地代・家賃（以下、賃料）の負担を軽減することを目的として、賃借人（かりぬし）である事業者に対して給付金を給付します。

★**給付の対象**…法人は、資本金10億円未満の中堅企業、中小企業、小規模事業者を対象とし、医療法人、農業法人、NPO法人、社会福祉法人など、会社以外の法人も幅広く対象とします。個人事業者は、フリーランスを含み、幅広く対象とします。

★**給付額**…申請日の直前1か月以内に支払った賃料などをもとに算定された金額が、給付されます。（法人は最大600万円、個人事業者は最大300万円）

★**申請の期間**…給付金の申請の期間は、2021年1月15日までです。電子申請の締め切りは、2021年1月15日の24時まで。締め切りまでに申請の受付が完了したもののみが対象となります。

★**相談ダイヤル**…家賃支援給付金 コールセンター

電話番号：0120-653-930 受付時間：8:30～19:00

8月31日まで：全日対応 9月1日以降：平日・日曜日対応（土曜日・祝日除く）

国の制度の上乗せとして、東京都が家賃支援給付金を行っています

事業者における家賃等の負担を軽減し、事業の継続を下支えするため、国の家賃支援給付金に独自の上乗せ給付（3か月分）を実施します。「東京都家賃等支援給付金コールセンター」電話番号：03-6626-3300 開設時間：9時～19時（土曜日・日曜日・祝日含む毎日、11月以降は土曜日・日曜日・祝日・年末年始除く）

府中市による新型コロナ感染拡大で経営困難に直面する事業者支援策について

国の持続化給付金の上乗せ給付制度があります

府中市独自による持続化給付金の上乗せ支給制度があります。補助の対象は国の持続化給付金の上限金（法人二百万、個人事業主百万）で給付が決まっている中小業者が対象です。市では法人2000件、個人事業主の千件を見込んでいるとのこと。法人には四十万、個人事業主には20万支給で申請には決定通知のコピーが必要。受付は、むさし府中商工会議所（電話 042-362-6421）で行っていますので、ぜひお問い合わせください。

府中市独自の業者支援金制度の拡充を求めたい

国の「持続化給付金」の給付金額が上限額（法人 200万円・個人事業主 100万円）未満の法人・個人事業主の場合、会計処理上、満額受給に至らない事業者も多数存在します。こうした理由から持続化給付金の申請の際、「雑・給与」として会計処理した業者についても、救済する対象枠の拡大が実施されています。

そこで府中市独自の支援策についても、持続化給付金の満額に対しての受給額割合での支援を行うことを市に対し緊急要望をいたしました。（例…個人事業主で80万の受給者は、本制度では16万など）。

市議会の総意の意思として、市に新型コロナ感染拡大で事業の困難に直面する事業者支援策を要望しています

府中市議会の総意として、市長あてに新型コロナウイルス感染拡大で経営が疲弊する事業者へ、市独自の支援金、補助金の早急な構築を以下、求めました。①事業継続支援補助金、休業補償支援補助金、事業所家賃の支援補助金を支給すること。②雇用調整助成金の上乗せ支給をすることの2点を要望しました。

市の回答…現在、国や東京都において、事業を維持するための支援策や事業主が雇用の維持を図るための休業手当の助成、休業を行った飲食店などに対する協力金など打ち出される支援策の動向を注視しながら、これら支援策の不足部分を補い、より市内事業者にも効果的な本市独自の支援策の検討をすすめているところです。また雇用調整助成金の上乗せ支給について、国において検討が行われていることから、その動向を注視していきます。

街の話題

府中市の待機児度数が60人減少して86人に

多摩地区ワースト1位は小平市の159人

7月30日付の朝日新聞多摩版に都内の保育所待機児度数の集計が発表されています。東京都の発表では、認可保育所などに入所できなかった都内の待機児度数は、最小数の2343人で対前年比1347人減少したとのこと。

府中市は対前年60人減少して86人となりました。多摩地区では一番多いのが小平市の159人（プラス63人）、調布市の149人（マイナス33人）、町田市の130人（プラス3人）、西東京市（マイナス11人）と小金井市の97人（マイナス14人）、国分寺市（マイナス31人）の94人、三鷹市（マイナス22人）の92人と続いています。ちなみに待機児数ゼロは武蔵野市と福生市となっています。

府中市の待機児度数は昨年の5月段階で146人となり、多摩地域「ワースト2位」でしたが（ワースト1位は調布市）、今年度4つの認可保育所と1つの認証保育所を開設（定員合計410人）したこともあり、大幅に待機児数が増減しました。府中市の待機児数は近年、多摩市でワーストワンを記録し、議会でも多くの議員が待機児数の解消を要望してきたこともあり、市もこの数年間は保育所増設に力をい

れてきました。一定程度の歯止めがかかったと思います。

今後の課題は待機児童数が多いと言われる0歳から2歳の児童数をどれだけ解消できるか、またいわゆる「隠れ待機児」と言われる児童がどのくらい存在しているのかが気になることです。府中市の人口は26万人で数位していますが、マンションや新興住宅が増加し、それにもない現役世帯の流入増を考えると、少し気を緩めるとまた一気に増える可能性があります。引き続き保育所問題についても注視し、9月議会の決算委員会などでも取り上げたいと考えています。



府中市の紅葉丘2丁目29番地付近に飯田産業の戸建て15棟建設予定…都道3. 4. 12号線（新人見街道）との関係は

府中市の北東地域、多磨霊園の付近にある紅葉丘2丁目29番地の3号の土地に、新興住宅企業の飯田産業が新たに15棟の新築住宅の建設を計画中です。すでに以前、同地にあった建物は解体され（山田歯科）、更地の整備中です。紅葉丘については1丁目、3丁目は比較的、新興住宅が増えていましたが、2丁目に13棟も集中的に建設されるのはめずらしいかもしれません。

一方でこの番地は、東京都が今後優先道路として計画している都道「府3. 4. 12号」線（浅間山線）の建設予定地付近でもあり、今回の新興住宅が建設予定されている住宅数棟の一部面積が、都道3. 4. 12号線の優先道路計画にかかっています。東京都はこの土地を買収しなくてもいいのでしょうか。

この地域は、あんず通り（都道 府3. 4. 16号線）の延伸、多磨駅の改良工事も重なり、少しずつ街全体も変貌していきません。同時に人見街道の危険度については依然として変わっていません。私もぜひこの地域の街づくりの課題に、積極的に関わっていきたくてお思います。



府中駅前、伊勢丹府中店の後継テナントは家電量販店の「ノジマ」に決定

昨年9月末で閉店した伊勢丹の後継として、家電量販店の「ノジマ」が後継テナントとして入ることになりました。開業は来年の春から夏の予定で、「家電のほか



様々な業態の専門店が入居する商業施設として同社が運営する」（読売新聞多摩版）としています。府中での店舗開設についてノジマの関係者は「府中は比較的昼間の人口があり、三世帯同居や10歳以下の子どもも多い。サービスも含め地域の特性に沿った業態を増やし、地域のにぎわいに貢献したい」（読売新聞）と、その営業の方向性を語っています。